

かわねほんちょう 議会だより

第54号

令和元年5月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会広報委員会

伝統文化伝承館落成式 (平成31年3月22日)



落成式を祝う美しい舞のヒーヤイ踊り



落成記念「赤石太鼓」

平成31年度一般会計予算	2～3
予算特別委員会の審査状況報告	4～5
3月議会で決まったこと	6
第2常任委員会審査報告	7
(川根本町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定)	
5人の議員が町政を問う	8～13
議会報告会	14

シリーズ

皆さん、知っていますか?冬の使者のこと	15
明日を拓く人たち・農事組合法人美味しいたけ	16

56億5,000万円

❀人口減少の克服を目指すプロジェクト❀

主要事業の内訳

人	移住定住事業	空き家バンク・移住相談・お試し移住体験	981万円
	地域おこし協力隊活動事業	木工品の加工1名、川根高校魅力化推進（町と学校を繋ぐコーディネーター1名）【新規】	606万円
町	社会福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センター運営事業（施設管理委託） 児童委員・民生委員活動支援（委員活動費、研修、推薦会等） 社会福祉活動事業支援（身障者福祉会、手をつなぐ育成会、保護司会、赤十字奉仕団等） 	1億4,196万円
	心身障がい者福祉事業	相談支援事業 医療費、日常生活用具、障がい者自立支援給付費等	2億1,327万円
	高齢者福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> 敬老事業（敬老者祝品贈呈・地域敬老事業支援） 外出支援サービス事業（高齢者等移動困難者の外出支援） シルバー人材センター事業支援 生きがい対応型デイサービスセンター事業（町内2箇所の施設運営） 在宅高齢者配食サービス事業（週4回限度の食事提供サービス） 緊急通報システムサービス事業（ひとり暮らし世帯等対象） 	1億4,005万円
	町立保育園運営 私立保育園・幼稚園運営支援	町内2園の維持管理、施設修繕、給食提供 運営支援	2億1,333万円
	町立子育て支援センター等運営	施設維持管理、放課後児童クラブ運営委託	4,662万円
	医療費等助成事業	0歳から高校生相当年齢までの子ども医療費助成（完全無料）、不妊治療費、未熟児養育医療費、産婦健診、産後ケア事業	1,883万円
	常備消防委託等事業	委託先：静岡市消防局 川根北出張所修繕工事	2億136万円
	社会資本整備交付金事業	橋りょう点検業務、昇泉橋塗装工事	4,910万円
	デマンドタクシー運行管理事業	北部地区、南部地区	2,052万円
	寸又峡路線バス運行事業	民間運行廃止に伴う措置	2,107万円
	町営バス運行管理事業	1路線 4系統	2,063万円
教 育	人材育成特別奨学金事業	<ul style="list-style-type: none"> 給付型（川根高校生限定/年額10万円） 貸付型（高校・大学・専門学校生/月4～8万円、無利子、返済免除規定あり） 	300万円
	学校のあり方協議会	連携授業等の検証 今後の学校のあり方の調査研究	62万円
	小学5年生県外体験、中学生・高校生海外研修事業	小学生：北海道 中学・高校生：カナダホームステイ・インド高校生IT技術研修	2,035万円
	小中学校ICT教育推進事業	町内6校 5年間（平成29～33年）のうち3年目	7,084万円
	「若者交流センター奥流」・「南麓寮」・「よすが苑」運営事業	3施設の適正な運営管理	9,627万円
	公営塾運営事業	高校生・中学生の学習支援	3,137万円
	文化会館公演事業	多種多様な舞台芸術鑑賞機会の提供	1,170万円

一般会計予算

前年度比△8.80% (5億4,500万円減)

❁川根本町の強みを活かすプロジェクト❁

主要事業の内訳

茶・林業	農業 IoTシステムの運用	センサーによる気象状況計測データや生産管理の実績などをデータベース化し栽培技術の普及、継承につなげる	111万円
	森林環境譲与税事業	景観伐採、木材利用の促進	937万円
	野生鳥獣等被害防止対策事業	防護柵・電気柵設置補助、狩猟免許取得支援、猟友会活動支援等	1,245万円
	産業振興団体活動支援	森林組合おおいがわ、町猟友会、木の駅かわね等	659万円
温泉・観光・自然	大井川流域観光対策事業	きかんしゃトーマス号運行イベント支援 大井川沿線地域活性化	1,200万円
	寸又峡温泉観光施設整備事業	遊歩道落石防止工事、休憩所整備等	4,003万円
	ユネスコエコパーク推進事業	エコパーク普及啓発、エコツーリズム推進、モンベルフレンドエリア登録等	839万円
	町内キャンプ場整備事業	トイレ洋式化等各種改修・修繕	658万円
仕	地方創生推進事業	サテライトオフィス※(1)等誘致事業	409万円
		空き家活用カフェ事業、テレワーク※(2)推進	888万円
		青部駅周辺開発、吉田町連携事業、ブランディング※(3)	606万円
事	プレミアム付商品券事業	消費税等の10%への引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響の緩和（国が全額補助）	2,100万円

※(1)社内間をICTでつなぎ営業所的機能を持つ仕事場のこと
 ※(2)ICTを活用した場所や時間にとらわれない働き方のこと
 ※(3)あるサービスや商品を特定のユーザーに価値があると認識してもらい、市場での位置付けを確立する戦略のこと



獣害対策の防護柵



お口の教室（生きがいの郷）

(前年比5億2,990万円減) 況を報告します。

審査日 3月4日～13日



予算特別委員会での審査の様子

平成31年度川根本町予算特別委員会を4日に開き、5日～13日まで、担当課別に審査を行い、一般会計と6つの特別会計予算の全てを原案どおり可決しました。
主な内容を抜粋して報告いたします。

一般会計

農林課

問 農業IoTシステム保守業務委託の内容は。

答 サーバー、システム利用料、保守料、回線使用料。委託業者は、ソフトバンク静岡営業所を予定、定点観測によるデータ蓄積が目的。分析、情報提供はJA大井川、農業者がデータを活用する。

問 森林環境譲与税関係事業の見通しは。

答 試算では2,200万円程度。当初予算では、その半分を計上、状況に応じて修正予算で対応したい。

会計課

農林課

問 現在の基金残高は。

答 平成31年1月末現在、一般会計33億1,217万円、特別会計2億4,419万6千円、土地開発基金1億3,157万9千円である。

問 コンビニ交付サービス提供使用料とコンビニで各種証明書を交付できるサービスで、その使用料である。

問 フリーWiFiが、利用しにくい

情報政策課

建設課

農林課

問 土木費が大きく減額している。地区要望への対応はできているか。

答 要望に優先順位を付け、緊急度を考慮し、補助金等活用しながら対応している。大井川の河床が上がっている。河川護岸の台風被害などの対応はどうか。

問 県は河川計画を策定、計画優先順位により対応いただいている。護岸整備等は、地元にも、一層理解いただけるよう説明をお願いしている。

企画課

高齢者福祉課

農林課

問 緊急通報システムサービス事業の状況は。

答 昨年度、委託業者の変更をした。利用者数は固定型が97件、携帯型が7件である。

問 エネスコエコパーク推進費関連予算は減額だが、町の考えは。

答 過去の事業検証で減額となった。全体の協議会があり、その中で推進していく。音戯の郷の集客をどう考えているか。トーマス関連イベント期間を夏休み

観光商工課

議会事務局

農林課

問 ペーパーレス化の検討は。

答 導入市町の状況を調査し、議員の意向等を含め検討したい。

問 プール利用期間延長の検討は。

答 町民利用動向、燃料代等経費について検討し、現在は4か月としている。

問 海洋センターの町民健康増進の方針は。

答 高齢者福祉課連携で、元氣いっぱい教室。健康福祉課連携の運動教室を展開。継続実施に努める。

社会教育課

問 寸又峡方面路線バス運行の見直しは。

くらし環境課

予算特別委員会の審査状



創造と生きがいの湯 全景

答 31年度は、町民の足の面、観光客輸送面の二面性を踏まえ、公共交通のあり方を1年間検討する。

問 ごみ収集業務の町直営と民間委託の経費の比較検討状況は、32年度を目途に全面民間委託に移行の方向で、経費面等を検討している。

問 山根留学生受け入れの財源確保はどうか考えているか。

答 寮等施設管理費が1億5千万円余掛かっている、寮が分散して非効率となっている。県はハード支援はしない方針で、民間資金活用も考える。川高存続のために対応するという意識を、同窓会、学校と共有していきたい。

健康福祉課

問 創造と生きがいの湯を観光利用することへの考えは。

答 町民の福祉向上の施設という基本目的を確保していく方向である。

総務課

問 旧北小学校の取り扱い。

答 具体的活用対策等はない。解体費の積算等をした経緯はない。

問 山根開発センターの空調工事は、利用に支障は出ないか。

答 できるかぎり短縮対応する。通常使用しながら工事施工を対応したい。

教育総務課

問 川根留学生受け入れの財源確保はどうか考えているか。

答 寮等施設管理費が1億5千万円余掛かっている、寮が分散して非効率となっている。県はハード支援はしない方針で、民間資金活用も考える。川高存続のために対応するという意識を、同窓会、学校と共有していきたい。

特別会計

後期高齢者医療事業

現状維持で質疑なし

国民健康保険事業

問 今後の国民健康保険等どう考えているか。

答 一般会計から赤字補てんのため繰り入れをしないよう、国・県より指導されているなかで、運営協議会で5年、10年先を見据えた運営方針等を協議していく。

問 町民が健康になつていくことが、医療負担を抑制し、保健税負担軽減につながるということ。

答 特定健診を受診している被保険者の医療費が、比較的低い傾向があるので、受診率向上にも力を入れていきたい。

介護保険事業

問 事業対象者把握事業委託料の内容は。

答 健康診断通知に同封のアンケートで、介護リスクを把握、結果に応じ講座の紹介をしている。

問 訪問看護事業の看護師確保はどうか。

答 現状で対応できている。

簡易水道事業

問 台風24号で北部方面水道の濁りの原因は。

答 沢の濁りがタンクに入った。ろ過が間に合わなかった。浄水場の監視装置が停電で停止したのも原因。今後業者と対策を検討する。

いやしの里診療所事業

問 本川根診療所の閉院で、いやしの里

診療所への影響と対応は。

答 一時的に増加することは想定している。現在、対応について医師と協議している。

▼まとめ▲

予算特別委員会では、担当課別に審査を行いました。連日、各課長、担当職員に出席をいただき、説明を受けました。委員からは、質疑・意見・提案などが出され、町長、課長、担当職員から回答をいただきました。31年度予算が有効に活用されることを望みます。熱心に審査に望んだ委員の皆様、また、丁寧に対応いただいた職員の皆様に感謝申し上げます。

予算特別委員会

委員長 石山貴美夫

副委員長 坂本 政司

定例会の会期中、6日間にわたり予算特別委員会・第2常任委員会を開き、次の案件を審査しました。

- ・平成31年度予算7件
- ・川根本町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定
- ・川根本町営バス条例の一部を改正する条例など4件
- ・平成30年度補正予算5件
- ・町道路線の認定
- ・静岡地方税滞納整理機構規約の変更

すべて原案のとおり可決しました。

補正予算

◎一般会計

補正額2億8730万を減額して予算総額61億6647万5千円とするもの。

◎減額の主な理由

経費の精査、入札差金、実績見込みに基づく減額。

◎増額の主な理由

基金利子積立金、災害復旧に伴う測量業務委託料。

◎繰越明許

年内完成が見込めないことで、次年度へ繰り越す工事9件総額2億1413万7千円。

◎介護保険事業

補正額38万5千円追

加して予算総額13億3134万7千円とする。

◎簡易水道事業

補正額667万7千円を減額して予算総額13億3134万7千円とする。

工事請負費及び施工管理委託料の入札差金による減額。

◎温泉事業

補正額41万3千円を減額して予算総額166万6千円とする。

台風被害による接岨峡温泉引湯管の復興工事が、年度内の執行が見込めないため。

◎いやしの里診療所事業

補正額233万3千円を減額して予算総額5538万3千円とする。

医師募集経費の減額。

条例制定

◎中小企業・小規模企業振興基本条例の制定

企業の振興に関する基本理念を定め、健全かつ持続的な発展を促進し、地域経済の活性化及び町民生活の向上に寄与することを目的として定める。

条例の一部改正

◎町営バス条例の一部を改正

新規バス停設置・寸又峡町営バス路線の新

規運行。



川根本町コミュニティバス（寸又峡路線バス）



移動した崎平バス停



新規 前山バス停

○水道施設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者に関する条例の一部を改正

水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格要件の改正。

○特別会計設置条例の一部を改正

平成31年度から温泉事業特別会計の廃止の改正。(一般会計で会計処理)

○温泉事業基金条例の一部を改正

温泉事業特別会計の廃止に伴い、基金運用で生ずる収益について、一般会計で会計処理するための改正。



町道に認定された藤川崎平線（藤川入口）

その他

○町道路線の認定

町道藤川崎平線・町道下澤間線・町道青部中央支線3号。

○静岡地方税滞納整理機構規約の変更

地方税法改正による自動車取得税の廃止に伴い、機構の規約の一部改正の変更を議決した。

第2 常任委員会審査報告

審査日 平成31年3月14日



常任委員会審査の様子

川根本町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について

この条例は、中小企業、小規模企業の持続的な振興を重要な課題として位置づけ、基本理念と各主体の役割を明らかにするとともに、中小企業、小規模企業自らの創意工夫及び自主的な努力を求めることで、町民が豊かで安心して暮らせるまちづくりを目指していくために制定するもの。

係の団体等もあるが、区分はどのようにするのか。

答 農業関係の団体等も第2条に規定する要件に当てはまれば該当事業所となる。

問 農業法人等も商工会の会員であれば該当するのか。

答 商工会に加入しているかどうかではなく、自園自販の農家等も小規模企業としての扱いになる。



答 町の補助金要綱制定においては、商工会などの関係団体と協議しながら、見直しや制定なども考えていく。

問 今後は、町の商工業の振興について、振興会議を中心に行っていくのか。

答 商工業の振興会議はあくまで町の商工業に関する各団体の会議であり、その中で決めたことは商工観光委員会にて意見をいただくことになる。



問 商工業に関する補助金等について、国・県・町の補助金や商工会独自の補助金等重複することがあると思うが、今後そういった区分けをどうするのか。

第2常任委員会

委員長 坂本政司

一般質問

- ・質問の概要を発言順に掲載します。
- ・一般質問のページは、質問した議員が執筆・編集しています。

9ページ 野口 直次 議員
新年度予算の主要な柱は

10ページ 石山貴美夫 議員
観光は町の重要産業、専門の人材の全国公募をしないか

11ページ 中原 緑 議員
学校統合で予測されるメリット・デメリットは

12ページ 杉山 広充 議員
学校統合について、保護者の声の吸い上げを

13ページ 澤西 省司 議員
森林環境譲与税の一部を害獣駆除に

5人の議員が町政を問う！

3月定例会最終日に一般質問を行いました

あの一般質問
どうなったやあ～

質問者：石山貴美夫議員

町内各区より要望される事項について

(平成30年3月定例会)

Q. 平成29年10月の大雨で元藤川、西平で土砂の流出被害が発生。
民家に土砂が流入、雨が降るたび不安である、その対応は。

A. 土砂災害は元藤川地区と相談し、安心安全な対策を関係先とともに進めたい。

現状. 平成30年9月に町建設課において、コンクリート壁を設置し、万が一土砂が流出しても畑、民家への土砂流入が防止できるよう対応した結果、かなりの降雨にも対応できる状況となりました。
議会としても今後、国や県に町内の治山対策をお願いしていきたいと思っております。



西平地区の工事箇所

問

新年度予算の主要な柱は

答

効率的で効果的な予算編成をした。

新年度予算の柱は

質問 新年度当初予算編成の、主要な柱を伺う。

町長 ここまで整備してきた環境や礎を最大限に生かし、基本的に、前年度と同じく第2次総合計画の重点戦略の「川根本町の強みを生かすプロジェクト」及び「人口減少の克服を目指すプロジェクト」の推進を施策の柱とし、効率的で効果的な予算編成とした。

質問 人口減少対策の中、多様な働き方を提案し、当町に人を呼ぶ込む具体的方法について伺う。

町長 27年度に高度情報通信施設を整備した。28年度から取り組んでいるテレワーク事業により川根本町に合った働き方ができる可能性がある。29年度にはIT企業ゾーンにはIT企業ゾーンのサテライトオフィスの開設が開所された。31年度は当町の特徴を生かした企業誘致により第二、第三のサテライトオフィスを目指す。国、県と連携し東京圏からの移住就業支援事業を展開し、町内への就業者確保に努めたい。

質問 財源確保について人口減少が著しい中、今後の交

付税の見通しを伺う。
町長 普通交付税の合併算定替えと

といった優遇措置の縮減等から今後の行財政運営に大きな不安も生じていることも事実である。

総務課 当然人口が減ると税収の減も発生する。普通交付税は逆に加算の対象になるが、今後交付税総額については減る可能性は大きいと考えられる。

質問 当町のような源流部は、川下に多大な貢献をしている。水に関するような収入源を国へ、新しい税を要望できないかを伺う。

町長 新年度予算計上の森林環境譲与税は、公益性の高い森林整備のために国民負担を原資に地方自治体へ交付される、趣旨に沿った新制度と考える。新たな税の創設は長い年月を要するが、源流部の実情を国に伝え、全国の市町村と協力して要望していきたい。



トンネルの開通は町民をひとつにした。

質問 町合併後の課題区の再編が必要に迫られているのではないかと。

総務課 地区再編というのは、行政主導でなく地区主導との考えを持っている。協議する場としては、区長連絡会で協議を継続して対応していきたい。

質問 合併以降、町の公共施設で減少した数を伺う。

総務課 川根本町になってから減った施設はない。旧2町がそれぞれ類似する施設を持ち合わせてなかった。その他の質問

地域おこし協力隊（教育委員会の新規隊員の募集・農林課の現隊員の今後）、消費税のアップ、各施設の使用料、合併当時から公共施設の借地料、「電源立地地域対策交付金」の上乗せ、「長島ダムふれあい館」の維持管理費の国の支援などの質問を行いました。



野口直次 議員



川根本町役場本庁舎

一般質問



石山貴美夫 議員

問

観光は町の重要産業、専門の人材の全国公募をしないか

答

軸になる人材に携わっていただきたい

質問

明確なイメージの新たなキャッチコピーが必要では。客が半減したが対策は。りのいずみは、いずれも

観光商工課長

満足度の高い観光商品の提供、後温泉街の周遊を含め検討したい。

質問

特徴ある観光イメージ形成、確立をしていきたい。四季の里足湯などに活用できないか。

質問

町内キャンプ場施設は、十年前約2万人が、約4万人と激増、対応が

環境課長

温泉スタンドとして運用当初、

3千人と激増、対応が遅れてないか。回遊・買い物・体験情報等を提供してはどうか。泉温が13.1度、1.29

観光商工課長

案内・周辺回遊・体験等情報提供を検討していきたい。

質問

案内看板、誘導サインの設置は。期待感を高める

観光商工課長

案内看板、誘導サインの設置は。調査検討している。

質問

歴史や文化財の案内誘導サインは。文化財保護審議会等で協議し、

社会教育課長

文化財保護審議会等で協議し、優先順位をつけて実施。寸又峡露天風呂、おこし協力隊募集も

質問

寸又峡露天風呂、おこし協力隊募集も検討したい。

質問

年59万も人が来ているが今一つ経済活性に反映しない

町長

旅行者ニーズ変化への対応の遅れ、サービス・経営、昔と変わらない観光資源などが主要因と考える。

町長

自然・文化・歴史を楽しみ学ぶ。観光、体験交流等継続して取り組む。美しい村連合は、付加価値を高め地域資源保護、

町長

観光スポット周辺案内看板設置、歩道整備を実施した。モデルコース作成等、旅行商品造成を促している。

町長

寸又峡周辺資源活用検討協議会で、温泉街の空き地、空き家の利活用、飲食

町長

提供・休憩所や体験施設、観光案内所充実、ガイド養成など検討中。

町長

吊橋の待ち時間、交通渋滞、夜間対策等課題が生じ、キャパオーバーの状況もある。地元団体と協議検討していく。

町長

元団体と協議検討していく。

質問

寸又峡宿泊者は、平成19年約6万人、29年約3万5千人と激減したが、対策は。

質問

ユネスコエコパークや美しい

質問

観光資源のブラッシュアップ効

町長

観光活性化の力を頂くことも必要と考える。

質問

関係人口、定住人口の中の人材

町長

関係人口、定住人口の中から力をいitadくことも必要。観光の軸となる人材に携わっていただき活性化につなげたい。地域

問

学校統合で予測されるメリット・デメリットは

答

詳しくは、町のホームページで確認を

質問 地域若者教育費の増額の要因は

川根留学生への負担増である。負担軽減のため①寮費の実質値上げ

②下宿先の掘り起こし③寮の下宿先の洗い出し④寮の集約化⑤県へのお願いについてはどう考えているか。

町長

寮費の変更や、下宿の洗い出し、宿泊施設のあり方を含め検討していく。県に対する経費負担は根気よく要望していく。

質問

下宿は町の経費負担を軽減できるから、町からの補助を3万円から4万円に引き上げて、受け入れ先の拡大をはかれないか。

教育総務課長 金額を上げたから下宿先が増えるということはないと考える。

質問

下宿コーディネーターによる生徒・学校・下宿を繋げるためのネットワークを立ち上げたらどうか。

教育総務課長

質問

既に教育委員会と学校が対応している。町内小中学校のICT教育推進業務委託料の推移について伺う。

教育総務課長

平成34年度まで、5年間で3億2460万円をICT人材育成事業共同企業体

(代表 東海ブロードバンドサービス株式会社)と締結した。推進方法や事業内容について、協議しながら実施するため、年度ごとの支払い額は異なる。

ICT教育推進業務は、平成35年度以降も引き続きできるような形で今進めている。

既に教育委員会と学校が対応している。

町内小中学校のICT教育推進業務委託料の推移について伺う。

平成34年度まで、5年間で3億2460万円をICT人材育成事業共同企業体

平成34年度まで、5年間で3億2460万円をICT人材育成事業共同企業体



寮生が増加した南麓寮

質問

来年度始まる英語教育の対応について、現在ALTが町内6か所の小中学校を巡回している。幼児英語教育は大切。合併

以前のよう保育園・幼稚園でも英語指導をすべきと思うが。

中学校ではアイ・パッドを活用してAIと会話する英語授業を進める。小学校では電子辞書を活用して英語を学習する。大学の先生に関わって

ただで中保育園・幼稚園の指導も進めることも検討したい。

質問

小中学校の統合のパターン(統合格例)が9例示されているが、代表的な例のメリット・デメリットは

教育総務課長

教育のあり方検討協議会の中では、集約ありきではなく、まずは川根本町の教育をどうするかを考

え、予測されるメリット・デメリットについては、不安を与えるかもしれないので町のホームページで確認してください。

質問

生徒数の減少による部活動の運営や、放課後児童クラブにおいても、コミュニケーションスクールによる地域の方々の力が必要か。

教育総務課長

コミュニケーションスクールについては、小中学校においては、地域の方々も巻き込みながら学校運営を進める仕組みで今後検討したい。

コミュニケーションスクールについては、小中学校においては、地域の方々も巻き込みながら学校運営を進める仕組みで今後検討したい。



“楽しいね” タブレット授業



中原 緑 議員

一般質問



杉山広充 議員

問 学校統合について、保護者の声の吸い上げを

答 例えば、保護者説明会等も踏まえ研究会で協議

質問

中学1・2年生が、本町公営塾を通常利用できるように、委託業者（Bir

th47）と話し合い、良い方策を模索したのか。

町長

施設のスペース、指導者数の問題等から、大変厳しい状況にあると考えている。

質問

「中学校の部活動は火・木・金の週3日。奥流の多目

的室は常時使用していない」と聴く。

月・水曜日を1・2年生に限定しての運営もできるのではないか。再度、Bir

th47と話し合い、良い方策を生み出していたら

教員

学校教育と塾というものの、これについてどうお考えか。

杉山

学校教育が主で塾は補助と考えるればいいと思います。

教育総務課長

奥流1階部分には、自習室として利用しており検討する必要があると思う。

杉山 「できない理由を探すのは、やめよう。できる方法を

見つけよう。」この精神でお願いします。

質問

保護者代表の教育委員が、平成29年10月から約1年6

か月不在となつてい

るか。どうなつてい

町長

教育委員の職務や服務内容から、人選に苦慮している。今後、教育委員会

において早期の対応を考えている。

質問

本町の小・中学校の保護者は、約300人いると推測する。

この保護者の中に教育委員の適任者が必ず

いると思う。任命は、いつ頃か。

か。

教育総務課長

時期については、申し訳ありませんが、言えない状況である。早期に実践

できるよう対応したい。

質問

昨年の3月・9月議会ですべての統合について、保護者の思い、本音の吸い上げを要望した。町長も

教育長も町民の声を反映させると答弁した。

町長

「教育のあり方検討協議会」の

保護者の代表から意見を聞いています。来年度、どのようにするかを含めて検討実行したいと思う。

教育総務課長

研究会の中で、梅澤委員長から、保護者等の意見を

吸い上げる必要があるという意見をいただいた

ている。例えば、アンケートや保護者説明会

を行うなど、研究会で

教育

保護者の意見を吸い上げるとい

うことをしないと

言うていない。今後どうするかということの

町づくりが大切だと思う。

質問

教員の長時間労働は正について。現在、小学校の教

町長

務主任、複式学級担任の激務が推察され、健康が心配。現在の学級

編制では、法制上解決できない。抜本的解決策を強く望む。見解を伺う。

教育

各校教務主任とICITの活用を教員の負担軽減の面で、今後

進めていきたい。

杉山

勤務実態把握のアンケートを行い、解決策を考えてほしい。

問

森林環境譲与税の一部を害獣駆除に

答

桑野山貯木場と里山の整備にあてる

○害獣駆除について

質問 全国の森林被害の75%がシカによる被害です。林業家の林業経営の意欲を低下させ、国土保全・水源涵養等の公益的機能低下を、林野庁は大変な危機感を持っているが。

農林課長 シカの被害が増加しているのは事実で、シカの食害対策として公共造林などで防護柵を設置して、被害対策に努めている。猟銃や猟犬を持つ方は年間30万〜40万円の維持費がかかります、特別な支援など具体策が必要な時期に来ているのでは。

農林課長 理解しているが、町の応援である補助金が狩猟者の重荷になりかねず難しい面もある。今後、狩猟者の皆様から、声が上がったら検討していきたいと思っっている。

○平成31年度の町内観光活性化策は

質問 大井川鐵道を活用了したサイクリングロードの発信はアドバンテージがあり、町としても検討しては。

観光課長 昨年2市1町で構成する「大井川流域サイクルツーリズム協議会」が設立され、事業の取り組みに協力していきたい。

質問 サイクリストの方に町の魅力や美しい四季を知ってもらうことは大事だが、川根茶の魅力など、伝え方についての工夫は。

観光課長 茶茗館や茶縁喫茶など川根茶の魅力を堪能できるようなコースも取り入れていきたい。

質問 今後、「マルシェ」を念頭に置いた島田市と連携してサイクリストの集客に取り組みることについては。

町長 川根本町の観光案内等も含めて、「マルシェ」で地場産品の販売など、出資の予定はないが、参加できればと考えている。

質問 長島ダムや大井川の堆砂を搬出しているが、サイクリストの安全確保はどうか。

町長 本町には自転車専用道路がございませぬ。安全で安心して走行できるコース設定が重要要素であり、今後、検討していく必要があると考えてる。

観光課長 協議会等で大きなイベントがあれば、情報を提供し対応できればと考えてる。

質問 観光協会の業務内容を精査するために、一度観光課内に取り込んで、再度委託したらどうか。

観光課長 毎年事業の内容も精査・検証している、改革する点があれば、事業内容を精査した上で体制づくりをしていきたい。

観光課長 近年「見る観光」から、「体験する観光」に変化している中で、観光案内所も事業企画する上で、自らの体験や、情報収集等ができる人材が求められる。

質問 凄腕のコンシェルジュ選びは重要だが、選び方のポイントや心当たりは何か。

観光課長 関係人口、定住人口の中から、観光の活性化に携わったような人材が必要と考えられる。また、募集等による方法もあると考える。



澤西省司 議員



千頭駅前に位置する

議会報告会 (平成31年2月22日文化会館・26日山村開発センター)

平成30年11月に伊豆地域への視察研修を行いました。本町と同じような課題・問題を強く感じ取りました。

◎ 観光ガイドの重要性と育成

担当 中原 緑

観光地の魅力をアップさせるには、「観光ガイド」が重要。

- ① ガイドにより、「住みたい町」になる。
 - ② ガイドの質を高め、ガイド料をいただくことも考えたい。
- ※川根本町でも、観光ガイドが活躍できる土壤をつくりたいと考える。



◎ 地場産品を活かした「川根定食」の企画宣伝

担当 澤西 省司

川根本町でも、オリジナル弁当や定食の必要性を感じた。本町の自然薯、生産量県1位の柚子を使った定食を情報発信し、「丁子屋のとろろ」のような名物にしたい。

◎ これからの福祉充実構想

担当 石山貴美夫

南伊豆町は、総合戦略で具体的目標を示した。

- ① 仕事・暮らし・教育・医療の充実により、ファミリー層の転出を抑え、転入を増やす。
 - ② 生涯健康の地域社会の創出、元気な高齢者を増やし、後期高齢者の転出を抑える。
- ※以上のことを本町でも可能か。検討していきたい。

◎ 公的施設の集約とその後の活用

担当 杉山 広充

- ① 学校の再編・統合について 【西伊豆町】
 - ・2024年度までに、小学校3校、中学校2校、子ども園3園を統合する。
 - ・「複式学級」の存在、津波・浸水対策を考慮する。
- ② 健康・福祉・子育て支援事業の拠点施設について 【南伊豆町】
 - ・同一施設内に、「地域包括支援センター」「社会福祉協議会」を設置する。

※本町でも似ている状況であり、検討を要する。



◎ 移住定住対策（地域おこし協力隊）

担当 坂本 政司

西伊豆町では、7名の隊員が活躍中。本町でも、2代目隊員が桑野山貯木場で活動中。地域に出て地域産業に関わる活動が望まれる。将来は、観光、飲食、農業等の分野での登用も必要と思う。

《議会報告会を実施しての議員の感想》

- ① 町民の参加者を得て実施できたことは、意義あることであった。生の声を聴くことが、町民と議会、行政との距離を縮めることに繋がると思う。
- ② 町民が、普段抱いている思い・意見・考えを十分に聴き取り、吸い上げる場が必要であることを痛感した。
- ③ 議員は、町の直面する問題に真摯に向き合い、解決に向けて努力することを再認識した。
- ④ 行財政も含め、コンパクト化すべきという意見があった。重要な指摘だと思う。

皆さん、知っていますか？

川根本町にオシドリが越冬にきていることを



オシドリは日本国内で移動する漂鳥^{ひょうちょう}で、夏は中部地方より以北で、冬は本州以南（主に西日本）へ南下して集団生活をします。

驚いたことに、毎年11月初旬～3月末頃まで川根本町の大井川に、越冬と繁殖相手を求めてやって来ます。野鳥に詳しい、町内の澤本 等さんは40年ほど前からオシドリを確認しているが、「その歴史は、遙か昔から冬の使者として来町していたはずだが、人々が気付かなかったのでは」と、話されました。

- おしどり夫婦 = 仲良し夫婦というイメージがあるかもしれませんが、実際は、毎年ペアを変えるようです。
- オシドリは、カモ科で夜行性です。
- 雑食性で草や木の実、昆虫類などを食べますが、ドングリが好物で、大井川の淵の上にドングリの木があれば、越冬地になるでしょう。
- 大井川の淵や町内4か所のダムを含めて、200羽以上いるとされています。
- 3月31日までは徳山付近で確認しましたが、今は長野県内上高地や北国で繁殖中の頃と思います。



写真提供者・徳山・澤本 等さん

川根本町の明日を拓く人たち

今回は、地名で、しいたけやお茶などの地場産品の生産をし、また地元雇用と若者の定住にも貢献している、農事組合法人 川根美味しいたけ（かわねおいしいたけ）を紹介します。

永続的な農林業経営を目指して

農事組合法人 川根美味しいたけ 代表理事 西原 睦実

農事組合法人 川根美味しいたけは、平成21年より操業を開始し、主に、椎茸用菌床を製造し、農家さんへ販売、農家さんが生産した生椎茸を共選出荷することを事業としています。

平成23年には生産法人化し、自社での生椎茸生産とともに、茶園の管理も手がけてきました。毎年の規模拡大を重ね、昨年の主品目の生産量は、菌床84万玉、生椎茸出荷量60t、茶生葉100tとなりました。また、昨年末に、荒茶工場である農事組合法人「かわね山処苑」を吸収合併致しました。

当法人は、永続的な農林業経営を目指しています。正社員は平均年齢32歳と比較的若く、この人たちが終身働ける場所、更にその先も永続できる企業となることを目指しています。そのためにも、福利厚生を整備、就業規則の制定等、従業員が長く健康的に働ける施策を行ってきました。そしてこれからも、改善を図っていく所存です。



もうすぐ収穫です



美味しいしいたけ、お届けします

◆ 6月定例会の予定 ◆

6月6日 木	9:00~	本会議 (定例会・初日)
	本会議終了後	全員協議会
6月14日 金	9:00~	本会議 (定例会・2日目)
	本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
6月25日 火	9:00~	本会議 (定例会・最終日)

- 本会議場は役場本庁3階です。
- 日時は変更することもありますので、詳しくは議会事務局 (56-2229) までお問い合わせください。

議会はどなたでも傍聴できます。
ぜひ傍聴におでかけください。

編集後記

いよいよ新緑の季節、当町が1年で一番活気づく季節です。新しい令和時代の幕開け、いつまでも平和で穏やかな時代であることを望みます。

令和元年に名誉ある、献上茶謹製が当町で行われます。

今回、「皆さん知っていますか」シリーズは、野鳥（おしどり）です。注目してください。また、議会活動報

告会には、多数の皆様のご参加ありがとうございます。ございました。

議会だよりが、町民の身近な広報誌になるように今後も努めて参ります。是非ともお読みください。

(野口直次)

(議会広報委員会)

- 委員長 野口 直次
- 副委員長 坂本 政司
- 委員 杉山 広充
- 澤西 省司
- 中原 緑

【訂正とお詫び】

2月発行第53号の2ページ「平成30年度一般会計正補予算成立」は「補正」に、3ページの期末手当の支給率「年間4.45月」は「年間3.45月」に、11ページ「土砂体積」は「土砂堆積」の誤りです。訂正してお詫び申し上げます。